

50代からの「服のもち方」。 下着と靴下は「4か月に1度」買い替え

3/13(月) 16:01配信

自分の寝室にクローゼットがある、という人も多いのではないのでしょうか。寝室はリラックスするための空間だからこそ、クローゼットもできるだけすっきりした状態を保ちたいですよね。ここでは、ライフオーガナイザーの下村志保美さんに、服のもち方で意識していることを教えてもらいました。

50代、寝室やクローゼットをすっきり保つ「服のもち方」

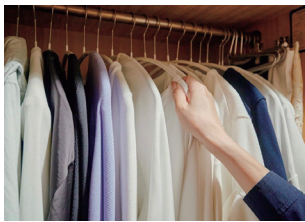
下村さんの寝室は4畳。自分だけの空間だからこそ、増えがちな衣類などは定期的に見直しをして、居心地のいい空間にしています。



●衣類はタンスに入る分だけ

ものがあふれてきたら処分を考えるでは遅いそう。

「まだ『着られる』と思っていても、どうせ着ないなら潔く処分。定期的に見直します」



●ハンガーのすき間は2~3cmに。それ以上増えたら見直す

タンスには厚手の上着以外の服を収納。

「適用量の基準はハンガー同士のすき間が2~3cm。そのほうが取り出しやすく、大切に着られます」



●ボトムスはパンツ3枚、スカート1枚に絞る

ボトムスやパンツは最小限に。

「シンプルな定番品だけを厳選して所有しています。これだけあれば着まわしも十分です」



●靴下や下着は4か月に1度買い替える

下着などの消耗品は処分しやすいよう、気軽に買いたせるプチプラ商品を愛用。

「靴下も3セットのみ所持し、傷んだら同じものを買います」

<下村さんのスムーズに手放すコツ>

不要な衣類は「**古着deワクチン**」に寄付

下村さんは服を手放すのに、**古着deワクチン**に寄付することも多いそう。

「袋を買って郵送するだけ。役に立てるのがうれしいですね」



●部屋は色を統一し、すっきり見せる

「ベッドやタンスなど大物家具があっても、色を白、黒、ベージュの3色以内にまとめれば、シンプルな印象に」